

2016年10月3日

各位

住友金属鉱山株式会社

「住友金属鉱山 統合報告書 2016」の発行について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、ステークホルダーの皆様へ、SMMグループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”へ向けた取り組みについて、より一層ご理解していただけるよう、本年度、初めて統合報告書を発行いたしました。

「住友金属鉱山 統合報告書 2016」の特徴

本報告書では、SMMグループがどのような価値をどのように創造しているのか、将来に向けて何をめざし、どのように取り組んでいこうとしているのか、また、価値創造を支える基盤は何かという視点を軸に編集を行いました。

その編集においては、昨年まで、アニュアルレポートで開示してきた業績等の財務情報およびCSR報告書で開示してきたESG(環境、社会、ガバナンス)情報を中心とした非財務情報に加え、創造する価値およびビジネスモデルを含むその創造プロセス、中長期でめざす目標と戦略、培ってきた強みなどの情報を加えた上で、強みの実践の実例などで情報を補完することで、より分かりやすい内容となるよう心がけました。

なお、本報告書の作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワークを参考にしています。また、サステナビリティ報告の開示情報については、昨年までと同様にGRI※のサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第4版(G4)の中核(Core)オプションに準拠するとともに、その自己宣言およびパフォーマンスデータ等に対する第三者保証を受けています。

また、本報告書にてその内容が包含されることから、昨年まで発行していたアニュアルレポートとCSR報告書を本年より廃止いたしました。

今後とも、当社グループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”をよりご理解いただけるよう、公平、適切な情報開示に努めてまいります。

※GRI : Global Reporting Initiative の略。

サステナビリティ報告書の国際的なガイドラインの作成・普及を目的とした団体。